

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二-二 東興ビル4F
一九八四年 八月 二〇日 第3種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行 領価百円



とことこニュース

51号



僕の人生、スベりまくり…?笑……………

2

大切にしたいこと……………

11

初めてちょこちっぴさんの
家に行って来たよ~♪

7

「嬉しい話とみんなの
成長に焦るしょぼい理事長」

12

バリアフリー展2019に参加しました。

9

バリアフリー展に行って来ました!!

10



あいえるせんたー



僕の人生、スベりまくり…？笑



自己紹介します

みなさんこんにちは。あめふらしいーといます。

僕は平成2年に926gの未熟児で生まれました。脳性まひという病気で自分の思うように手足や体を動かすことができないので車椅子に乗って生活しています。

今日は障害者の気持ちを少しでも知ってもらうために車椅子での生活と経験してきたことをお話ししたいと思います。

色々あった学生時代

まず初めに僕が学生の頃の話をしたと思います。

中学校まで地域の学校に通っていました。

入学前に小学校の先生との話し合いでは、養護学校か障害児学級を勧められましたが、幼稚園のときからの友達も多かったしみんなと一緒に勉強したり、遊んだりしたいという思いが強かったので「みんなと同じ教室で勉強したいです」と先生に両親と一緒にお願いしました。そしてなんとかみんなと同じ教室で勉強出来るようになりました。ですが僕がみんなと同じ教室で勉強をするには工夫しないといけないことがたくさんありました。

例えば、授業中に黒板に書いてあることをノートに書き写すにしても僕は時間がかかってしまうので、授業中に書ききれぬか不安でした。

そんな時は、同級生がノートを貸してくれて家に帰ってからゆっくり書き写していました。

中には「君は車椅子だから楽でいいよな」と言われたり、ときには車椅子で遊ばれたりしました。長時間車椅子に座っているとおしりや腰が痛くなります。

それに車椅子で遊ばれたときは、車椅子は自分の足と同じぐらい大切なものなのに、それで遊ばれている様子を見て、僕はとても悲しかったです。

このように嫌なことをいう同級生もいましたが、気持ちよく手伝ってくれる同級生もいました。

それ以外でも教室移動のときに車椅子をおしてくれたり、僕が通っていた学校はエレベーターがなかったので上の階にある教室に移動する時は同級生たちみんなが僕を抱えてくれる人と車椅子を運ぶ人に分かれて僕を教室まで連れていってくれたりしました。

同級生たちに助けてもらえない食事介助やトイレ介助は介助員さんに助けてもらっていました。

他にも学校行事などにもたくさん参加しました。小学生と中学生のとき、西宮市内の小中学生が甲子園球場に集まって運動会をする「連合体育大会」に参加して組体操をしたことです。僕が組体操に参加できる方法を同級生が僕と一緒に考えてくれました。

そして当日は「ピラミッド」という人と人が重なり合ってピラミッドをつくっていくという演目に参加したり、どうしても参加できないところは号令をかけたりしました。

有名な甲子園球場で運動会が出来たという充実感があってとても思い出に残っていますし、運動会前から僕と一緒に僕が参加できる方法を考えた同級生たちに感謝しています。

この頃思い描いていた夢

僕にはこの頃から「いつか両親と離れて一人で暮らしたい」という目標がありました。理由は、あるテレビで障害のある人が在宅で仕事をしながら一人暮らしをしているという、ドキュメンタリーを見て「すごいなー」と感じて僕もしてみたいと思ったのと同時に障害があっても自分らしく生活したいと思ったからです。

ですが、その夢を実現するためにはどう行動すればいいのかわかりませんでした。

ただなんとなく「両親と離れて一人で暮らすには、自分でできる事を増やさないといけない」とは思っていたので高校は両親と離れて兵庫県の西の方にある養護学校に進学しました。

僕の高校は全寮制といって学校の勉強から洗濯、ご飯、お風呂、就寝までを同級生や先輩、後輩と過ごすという形の学校でした。また時間がかかっても自分でできることは自分でやるという学校のルールだったのであまり先生には手伝ってもらえませんでした。

そういう環境だったので「いつか両親と離れて一人で暮らすには自分でできる事を増やしたい」という目標に向かって練習するには良い場所だと思いました。

ご飯はみなさんと同じように調理員さんに作ってもらって、お風呂は浴槽に入るときと頭を洗うのは先生に手伝ってもらっていましたが、身体は自分で洗っていました。

洗濯も入学した頃は今まで母にお願いしていたので何をどのように工夫したら自分一人で行えるのか全くわかりませんでした。そのときは学校の先生や先輩に教えてもらいました。

そのおかげで高校を卒業する頃には一人でできるようになりました。

こうして「いつか両親と離れて一人で暮らしたい」という目標に向かって少しずつできることが増えていきました。

あいえるせんたーに通い始めて

これまでお話ししてきたように「いつか両親と離れて一人で暮らしたい」という目標に向かって少しは進めていましたが、まだ何から始めればいいのかわからなくて悩んでいたとき、知り合いから「僕の通っている作業所に来てみない？」と誘われあいえるせんたーに見学に行きました。

あいえるせんたーに見学に行って思った事は、みんな明るくて楽しそうだなーと感じました。そしてそこには一人暮らしをしている先輩がいて僕もこの先輩たちみたいに少しずつ一人暮らしに向けて必要なことや体験談を聞きながら一緒に仕事がしたいと思いました。

あいえるせんたーは、一人一人が出来る仕事を見つけて活動している障害者の作業所（障害者が働いているところ）です。

そして2014年の8月からあいえるせんたーで働いています。

バザー販売や焼き芋販売、パソコンでの仕事、授産品の作成、販売や啓発活動などを行っています。福祉教育も啓発活動としてやっています。

僕はパソコンを使った仕事や一人暮らしを目指している仲間のサポートをしています。

例えば計画書や報告書の作成、年3回のイベントがあるのですが、その企画の仕事をしています。あいえるせんたーの仲間に仕事の内容を認めてもらったときが一番やりがいを感じます。



小学校に福祉教育に来ました

ちょっと困った出来事

電動車椅子で行っているのですが車椅子で、道を歩くと少しの段差や、でっぱり、坂が恐いです。

ある日あいえるせんたーからの帰り道に街路樹が植えてありました。僕はあいえるせんたーの仲間と喋っていて街路樹が植えてあることに気づかず、その根っこにひっかかりこけた事もあります。そのときは大声で「助けてください！」と叫びました。

するとその声に気づいてくれた通りすがりの人と仲間が呼んできてくれたあいえるせんたーの職員さんに助けてもらいました。

玄関に大きな段差があり、車椅子から降りて部屋に入りやすいようにフラットにしました



この出来事がきっかけで、当たり前のことですが、喋りながらも周りを見ないといけないと思いました。

一日の流れ

僕の生活を紹介したいと思います。

平日は朝7時にヘルパーさんに来てもらって、起床、洗面、朝食、トイレ、出勤準備をしてもらいます。9時前には家を出て、電動車椅子と電車であいえるせんたーまで行きます。

10時から16時まであいえるせんたーで働いています。

夕方は17時30分に家の近くでヘルパーさんと待ち合わせをしていますが、時間があるときは1人で買い物に行きます。

22時までの間にお風呂、日によっては掃除機をかけたり、夕食、歯磨き、翌日のお昼に食べるお弁当づくり、就寝準備をしてもらいます。

メニューはヘルパーさんと話をしながら決めていますがたまに体調がすぐれないときはヘルパーさんにお任せしています。

なるべく栄養バランスを考えながら・・・とは思いつつなかなか実践できていません笑。

以前こんなことがありました。

あるヘルパーさんに翌日のお昼に食べるお弁当づくりをお願いしました。

出来上がった時ヘルパーさんは「野菜のカレー炒めをつくったんですけど、たぶんかなり辛いと思いますよ！」と言ってくれました。

僕は辛い物が苦手で、例えばカレーはこども用のカレーの辛さぐらいのものしか食べれません笑。そのことをヘルパーさんもわかってくれているだろうと思っていました。

なので僕は内心「そこまで辛くないだろう」と思っていました。

翌日お弁当を開けて野菜のカレー炒めを食べてとても辛くてびっくりしました笑。

この出来事がきっかけで味付けや調味料の量など自分の好みの味に近づけるには細かくヘルパーさんに伝えた方がいいなということが今後の課題です。

洗濯は天気予報を見て決めています。

雨の時は洗濯物を干す場所が少ないので洗濯する回数を増やしたりしています。

歯磨きは朝と夕食後の2回やっています。

歯磨きはヘルパーさんにしてもらっています。

自立の生活を始めた当初は電動歯ブラシを使っていました。

あいえるせんたーの仲間からの「ヘルパーさんに磨いてもらうなら普通の歯ブラシが良いと思うよ」というアドバイスもあって今は普通の歯ブラシを使っています。

寝る時は一人で寝ています。でもこの決断をするのにとても悩みました。

なぜかというところ確かに24時間ヘルパーさんにいてもらえれば好きな時に介助を頼めます。一方で24時間ヘルパーさんにいてもらうのはしんどいなという気持ちがありました。

このときもあいえるせんたーの仲間に相談しました。

その中である仲間が言ってくれた「何かあったらどうしようなんて考えていたら自立生活はできないよ」という言葉でやっぱり僕は寝る時は一人で寝たいと思いました。

でもそれを両親に伝えたら「何かあったらどうするの?」と言われて反対されましたが、あいえるせんたーの仲間にアドバイスをもらいながら根気強く両親を説得して今では「やるだけやってみなさい」と応援してくれています。



野球観戦中

このように寝るときは1人なので就寝準備は僕にとってかなり重要です笑。

まず布団を敷いてもらいます。僕は家の中ではほふく前進で過ごしているのほふく前進で布団まで進んで、夜中に飲むお茶、電気のリモコン、エアコンのリモコン、携帯、尿器を用意してもらっています。



就寝準備の様子

待ちに待った休日

休日は土曜日朝8時から10時までヘルパーさんに来てもらって、起床、朝食、歯磨き、状況によっては洗濯や掃除機をかけてもらったりしています。

10時から18時30分まで日中介助のヘルパーさんに来てもらい平日に一人で買い物に行っていますが、買い忘れた日用品の買い物やお金にゆとりのある時はカラオケに行ったり、梅田や三宮に行ってお洋服を買ったりしています。

カラオケに行ったときは阪神タイガースが好きなので応援歌の「六甲おろし」を必ず歌います笑。お金のゆとりがないときは家でゲームをしたり、パソコンでユーチューブを見たりしています。

ゲームではまっているのはプレイステーションVITAの「実況パワフルプロ野球」というソフトです。17時30分に夕方から夜のヘルパーさんに来てもらって、日中介助のヘルパーさんと一緒にお風呂にいれてもらいます。

そしてお風呂からあがったらときどきはストレッチを手伝ってもらったり夕食の相談をヘルパーさんとしています。

夕食が終わってから寝るまでの時間はゆっくりしています。

日曜日は朝8時から22時までヘルパーさんに来てもらって、土曜日と同じように過ごしています。

ただ日曜日はお風呂に入っていません。



VITA でゲームをしています

ヘルパーさんの頼み方

僕の場合のヘルパーさんの頼み方について説明したいと思います。僕は今「重度訪問介護」という制度を利用してヘルパーさんに来てもらっています。

ヘルパーさんとは事業所を通じて1か月の時間数を契約してその中でやりくりをしています。今は契約だけしている事業所も含めると10個の事業所と契約していて、約30人前後のヘルパーさんに来てもらっています。

ヘルパー事業所さんは朝は月曜日から土曜日まで同じ事業所のヘルパーさんに来てもらって、夕方は曜日ごとに来てくれるヘルパーさんは違います。

ある曜日は一人のヘルパーさんが固定で来てもらっていたり、ある曜日は何人かのヘルパーさんがローテーションして来てくれています。



すのこを敷いて窓枠と床と高さを合わせています

一人暮らしをして気付いたこと、工夫していること

僕が生活している中で苦勞しているのは「ヘルパーさんとどうコミュニケーションを取るか」ということです。

一人暮らしをする前もヘルパーさんをお願いして外出したりしていましたが、ヘルパーさんをお願いする頻度が少なかったためヘルパーさんとのコミュニケーションを取る必要がありませんでした。

ですが実際一人暮らしをし、たくさんのヘルパーさんと関わっていくことによってたくさん悩むことが増えてきました。

例えば洗濯物の干し方ですが最初は僕自身もどうしたらいいのか分からなかったということもあってヘルパーさんに任せきりにしていました。

ですが暮らしていく中で「こんなやり方もあるんだな」と気付きました。

でもそのいいなと思った干し方を伝えようとする、ヘルパーさんの中には「わかってる！君は姑みたいやな！」と言う人もいます。

僕はその言葉を聞くと「ここは自分の家で自分のしたいことを伝えようとしているだけに…」と腹の立つ気持ちと、自分の考えていることを否定されたような気がして、ショックな気持ちになります。

そういうことがあったとき最初は「なぜ僕の気持ちを理解してもらえないんだ」という気持ちが強くて、ヘルパーさんに対して苛立ちがありました。

でもあいえるせんたーの仲間や他の障害当事者の人に話を聞いてもらっているうちに自分の生活なんだから自分がどういう理由や思いでその行動をとっているのかまで、ヘルパーさんに伝えていくことがヘルパーさんにも理解してもらえるようになるのかなと思えるようになりました。

今ではヘルパーさんに伝える時に僕は「こう思ってるからこうしてほしいです」と伝えることができるようになってきましたがこの悩みは今もつきません笑。



アイエルのメンバーが電車に乗るのに、同行しました

これからの夢・チャレンジしたいこと

これからチャレンジしようと思っていることはピアカウンセラーになることです。

僕がこうやって自立生活をスタートできたのは生活を支えてくれているヘルパーさんのおかげです。

でも一番はあいえるせんたーの仲間や他の障害当事者の人が僕の悩みに共感してくれて、自立生活は楽しいものだということを教えてくれたからだと思います。

なのでピアカウンセラーになってこれから自立生活を始めたいと思っている仲間のサポートができればと思います。

そのためには僕自身が今以上に今の生活を楽しまたいと思っています。

最後に…

今この記事を読んでくれている人の中にはこれから一人暮らしをしてみたいなと思っている方や、今、一人暮らしされていて困っている方、色々な方がおられると思います。

でも大丈夫です！自分がこういう風な生活がしたい！という気持ちと自分の思っていることを周りの人に伝えることが出来れば、一人暮らしはできると僕は信じています。



イラスト作：きよろりん

初めて、ちょちっぴさんの家に

お邪魔しましたよー♪

マドレーヌ

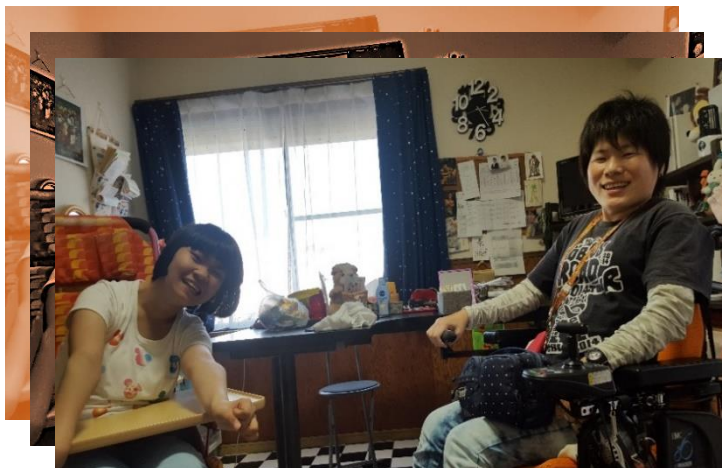
私は、ちょちっぴさんの家に行くことをとても楽しみにしていました。いつもならアイエルセンター山本に出勤するのですが、その日はあいえるせんたー逆瀬に出勤させてもらいました。

逆瀬に出勤したらちょちっぴさんや他の障害者スタッフの方がいました。

私は、緊張していました。でも、逆瀬の皆さんが緊張をほぐしてくれました。

逆瀬の皆さんがいろいろ話しかけてくれたから、緊張がほぐれました。

そして、みんなで歩いてちょちっぴさんの家に行かせてもらいました。



ちょちっぴさんの家に歩いて行ったよー♪

道がデコボコしてるので、もしも1人で電動車いすに乗ってて、車とか自転車とかバイクが来た場合、どのように対処するのかなぁと思いました。

私だったら、1人で通勤するのは難しいなと思いました。

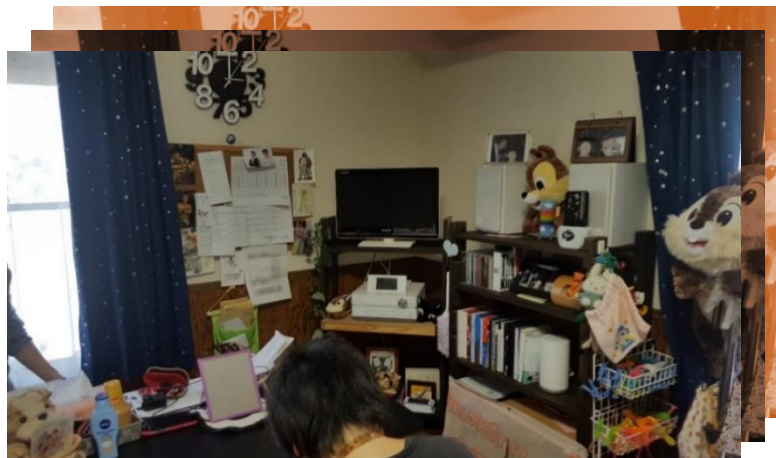
もし1人で通勤してて、何かあった時にどうやって対処すればいいかわかりません。

だから今は、1人で通勤するのは難しいかもしれませんが、いつか1人で通勤出来たらと思います。

私も車いすの生活で、人の介助がないと生活が出来ません。

ちょちっぴさんは、電動車いすで逆瀬から家まで1人で通勤されてて、暑い時も寒い時も頑張って電動車いすを操作して毎日行き帰りをされてて、すごいなぁと思いました。

ちょちっぴさんの家は、段差に合わせてスロープがあり、車いすを使い分けていて玄関の上る所も工夫して、段差をなくすようにしてあってすごいなぁと思いました。



ちょこちっぴさんの家で、質問タイム



いろいろ質問したなかで、特に印象に残っているのはこの2つです。

1つ目の質問は、なぜ1人暮らしをしようと思ったかです。

ちょこちっぴさんは小さい頃に養護学校の寄宿舍に入られて、次に施設に入られて、そしてグループホームでは1人暮らしに向けて勉強を一生懸命して、自分なりに工夫して1人暮らしをされています。

私はすごいなあと思いました。

グループホームに入られていた時は自分の思うように出来なくて体調を崩しちゃったり、食事も食べたいものが食べられなくて困ってしまって、1人暮らしをしたいと強く思うようになったのかなと思いました。

2つ目の質問は、1人暮らしをしたいと思い始めてから、1人暮らしを始めるまでどんな経緯を辿ってきたのかです。

ちょこちっぴさんは画用紙に自分なりに1人暮らしをするにあたって、いろいろ工夫して書いていてすごいなあと思いました。

家探しをするにしても、決まりかけてたのに「車いすだから無理」と言われて、半年ぐらい悩んで苦労して大変だなあと思いました。

ちょこちっぴさんの家に行ってみての感想

私は、家族以外の人と外食したことがありませんでした。

なので今回初めて、ちょこちっぴさんとハンバーグを食べに行きました。

初めて行ったので、色々な話をして食べるのがとても楽しかったです。

私が思ったのは1人であることが苦手なので、グループホームとかヘルパーさんと一緒に暮らすんだったら、私も出来るのでは？と思いました。

私はヘルパーさんがどういう事をしてくれて、どこまでのことをしてくれるのかをよく分かっていません。

なので、今後自分の出来る範囲でいろいろ知りたいと思います。

アイエルセンターの障害者スタッフに、実際にどんな苦労してヘルパーさんにどういう風にいろんなことを頼んでるのかを聞いてみようと思いました。



バリアフリー展2019に参加しました。

あいえるせんたー逆瀬 障害者スタッフ 永田 龍成
ペンネーム 龍成&心友&ステーション♪

みなさんおっはー！(こんにちは)僕の名前は、永田龍成です。ペンネームは、龍成&心友&ステーション♪です。心友&ステーション♪は、僕が好きなアイドルを合体した名前です。そしてダジャレが好きです。大好きなアイドル(写真)とバリアフリー展行ってきました。レッツゴー(*^▽^*)

僕は、バリアフリー展でお箸コーナーを見て来たよ。お箸を見てきた理由は、僕がいつも使っているお箸は、木のお箸です。僕の歯の力は、強いから2本のお箸がすぐに折れる。おーどなお箸をおーど(笑)。200%歯の力あります。(噛む力が強いです)

さらにアイドルのCMを見たらカアップ。(テンションが上がって)500%アップです。(噛む力が強くなる)折れたお箸は、はさみで切ってまた復活します。破壊したのは歯かい?(笑)。

僕は、まるで石のような固いお箸がバリアフリー展にないか調べに行ってきました。

お箸コーナーで僕が見たのは、「箸ぞうくん」です。

箸ぞうくんの特徴は、持ち手が握りやすいグリップがあります。お箸は、左手用と右手用もあります。持ってみると軽かったです。色もたくさんあります。他にもスプーンとフォークがあります。

箸ぞうくんは、色々種類がありますよ。お箸の持ち手が色んな形がたくさんありますよ。

僕が見たのは、箸ぞうくんⅡと箸ぞうくんクリアⅡです。

箸ぞうくんⅡ

「箸ぞうくんⅡ」は、持ち手が握りやすいグリップがありますよ。グリップには、滑り止めのゴムもついてます。クリアⅡと比べたら一回り小さいです。

お箸の先は、掴む所は、普通のお箸です。

箸ぞうくんⅡは、持ってみると持ちやすくて動かしやすかったです。



箸ぞうくんは、持ち手がしっかりしてます。箸ぞうくんの先は、木でできてるよ。

けど僕が使ったらすぐに折れるかも。

箸の先が50%弱い(強く噛んだら折れてしまうかも)と思った。

箸ぞうくんは、持ち手がある人は、使ってみると使いやすいですよ。

値段は、どちらも3240円です。詳しくは、こちら!⇒www.hashizokun.com

僕は、アイエルセンターで初めてバリアフリー展に行きました。バリアフリー展は、楽しかった。お箸を探すのが色んなお箸があって楽しかったです。けど僕の探している持ちやすくて折れない固いお箸は、見つからなかったです。これから持ちやすくて折れない固いお箸があればいいなと思った。

以上、龍成&心友&ステーション♪でした。ありが10!(*^▽^*)

箸ぞうくんクリアⅡ

「箸ぞうくんクリアⅡ」は、グリップにゴムは、ついてないけど箸ぞうくんⅡより少しグリップが大きいです。持ち手がもっと握りやすいです。持ってみると、僕の中では、45%(少しだけ)動かしにくいと思った。((´▽`))

父の指(親指)ママの指(人差し指)なんか感覚が変と感じた。

なぜならグリップが大きいからです。普段僕の使うお箸より大きいからです。グリップが大きくてカチカチ掴むのが動かしにくいです。



バリアフリー展に行ってきました！！

アイエルセンター障害者スタッフ

山崎 宗晴

自分で使える爪切りを探しに自助具のコーナーに行った時にストローのコーナーで気になる商品を見つけました！ストローホルダーというストローを固定する自助具です。自分でストローを固定出来ない人用でストローがぐるぐる回るのを防ぎます。



ストローホルダー

私は右まひなので、これだと片手でもストローを固定して簡単に飲めるので、1つ買いました！金額も手ごろで150円ぐらいです。色は4種類あったけど、販売されていたのはブルーとオレンジの2種類です。私は明るい色が好きなのでオレンジを買いました。プラスチック製で5cmぐらいの大きさなので、手軽に持ち運び出来ます。取り外し可能なので洗いやすく衛生面も問題ありません。コップの大きさ・形に関係なくコップのふちに引っ掛けて使います。家に帰って使ってみたけど、うまくはまりませんでした。使い方の説明を忘れてしまっていたので、説明書があるといいなと思いました。

アイエルセンターに持ってきてスタッフ皆に見てもらって話していたら、逆さにはめていたことに気づきました。すっきりしました。使ってみて、固定してストローがグラグラしないのでうまく吸うことが出来ました。手を使わなくても吸えるので便利です。冬場は指先がしびれるのでストローホルダーがあると飲みやすいです。

結局自分で使える爪切りが見つからなかったのが残念だなと思っていた矢先、授産品コーナーでいろんな味のクッキーを販売している所で障害当事者が働いていました。

今までは職員しかきていなかったように思いましたが、レジと売り場の接客をされていました。

商品の説明を当事者の方がしてくれました。試食もすすめてくれました。上手にすすめてくれて思

わず全種類食べてしまいました！おすすめ上手です。嬉しくてクッキーを3、4種類買ってしまいました！美味しかったです。当事者の人たちが販売しているところにすごく関心しました。私にとってすごく心強く思いました。

これからも私自身アイエルセンターでバザー、コーヒー、焼き芋販売を頑張っていく勇気ももらいました。

授産品コーナー



大切にしたい事

介護支援センターとことこ 中山 かおる

ヘルパー派遣の仕事をしていて、互いに当たり前なのに忘れがちな事に気付きます。相手の話を聞き、話しをするということ。

介助を頼まれる方1人1人で望まれていることが違います。

家事介助ひとつでも掃除の仕方が違ったり、調理で入れる具材や切り方が違ったり、1から教えてもらう事からはじまります。初めて入る場所ではみんなが初心者です。

もちろん、応用出来ることもたくさんありますが、同じではない。

何度も活動していく中でも、これで大丈夫だろうと思っていたことが、話をしていくなかで違うことに気付いたり、別の相談の中で違いに気付いたりもします。

わからない事はきちんと聞く、そして障害当事者も違うけどあきらめようではなく伝える。介助の中心は障害当事者です。自分のやって欲しい介助をしっかり伝え、ヘルパーはしっかり聞き、わからない事を減らしていけたらと思います。

すべての人に完璧な介助はないので、まずはそんな当たり前のことを大切に、過ごしやすい生活の場作りのお手伝いをしていきたいです。

人の役に立てると実感できる仕事

ヘルパー募集 時給1200円～

介助（手伝い）は、一人にゆっくり入れるので、利用者との関係を築いて楽しくできる仕事です。



《一押しポイント！！》

- 苦手な事はさせません。得意な事を活かして仕事できます。
- ヘルパーは1日1時間～8時間でもOK「希望を教えてください」
- 外出、余暇活動等の長時間も大歓迎
- しっかり研修して安心して業務できます。
- 興味があればOK 《無資格でも資格取得支援あります。》

【お仕事内容】

- ★ 家事介助 [調理・掃除・洗濯など]
- ★ 身体介助 [食事・入浴・洗髪・トイレなど]
- ★ 移動支援 [食事・トイレ・カバンからの荷物の出し入れ・見守りなど]

介助に関する疑問点は、その場で聞いてそれでも解消されない場合は、同じ介助経験のある職員にご相談いただくと嬉しいです！

※当法人では原則、入浴・洗面・トイレなどの介助は同性による介助になっています。職員も募集中「直接運営に関われるチャンス！！」お気軽にお問合せください。

詳しくは、平日 9:00～17:00 ☎0797-77-9290 担当 中山

嬉しい話とみんなの成長に焦るしょぼい理事長

理事長
川原崎 浩史

今年度理事長交代後初めての総会が無事に終わりました。お世話になっている皆さん一年ありがとうございました。いや～流石になんか2月くらいの準備の段階から焦ってしまっていた様でいろいろ反省しました。でも、とりあえず無事一年が終わり一安心です。

総会の中でアイエルセンターより、ILP（自立生活プログラム）に力をいれているとの報告がありました。今回のニュースでもマドレーヌさん（P7、8）報告の内容や、ミニILPという月1～2回障害当事者が集まってテーマについて話をする場、例えば「就寝準備について」というテーマでそれぞれが話をしていきます。自立生活している人もいればまだ自立生活を考えていない人も参加してくれています。

その中で、自身の生活を人に話す事で自分の生活を見直すいい機会になったり、人の話を聞くことで気づきになったりしています。その場では、その人らしさを大事にして否定やアドバイスも出来るだけしないようにしています。あくまで自己決定するための情報提供のみです。簡単そうと思われるかもしれませんが司会、進行等の役は実はかなり難しくいつも頭を悩ませながら皆楽しんで開催しています。ミニILPは毎月開催していますのでご興味がある方は、見学、ご参加ください。等と総会で報告してくれました。

さて、今回は最近の少し嬉しい話をしたいと思います。
先日、とある職員が障害者スタッフの為に支援会議で頑張ってくれました。支援会議って不思議なものですね？私は、感覚的に支援の調整や支援方法の見直す場と思っていたのですが…逆に、障害当事者の行動を見直させようとする支援会議がありますよね。（笑）今回は、複数の事業者が障害当事者の行動Aを責め始めたのです。イヤ～な雰囲気の中、職員が「その行動Aは、むしろ良い事だと思う。それをどうやったら上手くいくのか考えましょ。」って言ってくれたのです。思わず涙が出そうになります。

べ(^_^)オイオイ涙腺弱すぎだろ？でもこの一言で会議は一変、無事に会議は終わりました。アイエルの支援者として当たり前、でもその当たり前の事ができたその職員の成長と勇気で障害者スタッフがどれ程救われたかと思うと本当嬉しくなります。

まだあります。作業所前でバザー販売をしているのですがその販売場所にカーポートを設置してもらい雨の日も少しでも販売出来るようにしようと話していたのですが若手の障害者スタッフが担当になりました。そのスタッフが頑張って設置業者への電話、助成金の書類作成と頑張ってくれていますがなんといつでも先輩スタッフのサポートが良い感じです。慣れない電話対応にサポートしながら電話の後によく頑張ったと拍手して仲間を労うのです。良い仲間ですね。そりゃ～やる気になってどんどん仕事頑張りますよ。すごく良い感じ！！次回のとことこニュースで無事にカーポートが設置できているのか報告楽しみにしておいてください。以上、理事長のちょっと嬉しい話でした。

職員、障害者スタッフ共に成長が嬉しい反面、私個人は正直焦ります。もっと自分自身が成長しなければ皆の成長に見合うだけの理事長にならねばと…本気でもう一歩頑張ります。なのでまだまだダメ人間な私ですがもう少し見守ってください。

最後に読者の皆様へとことこニュース51号を最後までお読み頂き誠にありがとうございます。ちなみに、介護支援センターとことこが少ない職員で頑張っております。一緒に働いてくれる方がおられましたらご連絡ください。お待ちしております。

特定非営利活動法人とことこニュース

編集人 特定非営利活動法人とことこ

編集部 〒665-0882 兵庫県宝塚市山本南2-6-5

TEL&FAX 0797-82-2233

E-mail sjcil@hotmail.co.jp

URL <http://il-center.info/>

【アイエルセンターへのご寄付の方は下記に振込をお願いいたします】

池田泉州銀行 山本支店 普通 28004
特定非営利活動法人 とことこ 理事長 川原崎浩史